

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4075	(H.24)No.	4075
-----------	------	-----------	------

事務事業名		美旗地域市有地有効活用事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林振興室		松井 保	63-7635
新・継	事業期間			根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度				

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	4 農村ふれあい交流空間の整備
重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	306001
一般会計		(中事業名)	
款	農林水産業費	美旗地域市有地有効活用事業	
項	農業費	(小事業名)	
目	農業総務費	美旗地域市有地有効活用事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>地域づくりの組織や農林業、観光分野と連携を図り、美旗古墳群を中心とした田園・歴史・文化ミュージアム構想の具体化を進める。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>地域の自然や歴史・文化を活用した、体験農園や自然とのふれあいの場の整備、食と「農」のネットワークづくりや伝統文化の継承など、市街地住民と農山村住民の豊かな交流を促進する。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	< H22年度から繰越 > 委託費7,230千円		美旗地域市有地整備方針に基づき美旗まちづくり協議会と連携し、整備計画を作成する。 (農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(平成24年度~平成28年度)を国に要望中)		<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託(全部・一部)により実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
直接事業費	(7,230千円)	0千円	0千円				
財源内訳 (千円)	国庫支出金	(7,230)					
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	0	0	0	0	0	0
人工数	職員		0.03人				
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円)	219千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(7,230千円)	219千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m ²	-	-	-	-	-
	実績		-	-	0	0	-
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
	美旗まちづくり協議会と連携し、整備計画の作成に取り組む。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項